

－ 住宅建設で現場作業に関わる職人の実態調査 －
大工、電工、配管工など14職種、計562人にアンケート

職人の72%が住宅建設業界の将来に不安を抱えていると回答

- オリンピックが開催される東京では、将来に不安を全く感じないと回答した人が一人もない結果に(全国平均3.4%)
- 今の賃金や待遇・職場環境に満足していない人は、82.2%

世界に誇れる工務店集団創ることを目的に昨年結成した、一般社団法人全日本工務店協会（福岡県福岡市、代表理事：阿久津 岳生）は、住宅建設で現場作業に関わる職人（14職種）を対象に実態調査を実施いたしましたのでご報告いたします。

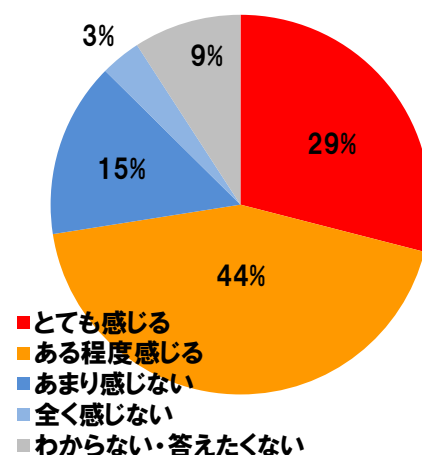
<調査結果>

■ 将来に不安を抱えて生活している職人は、72%いることが判明

Q. 住宅建設業界の将来に不安を感じますか？（n = 562）

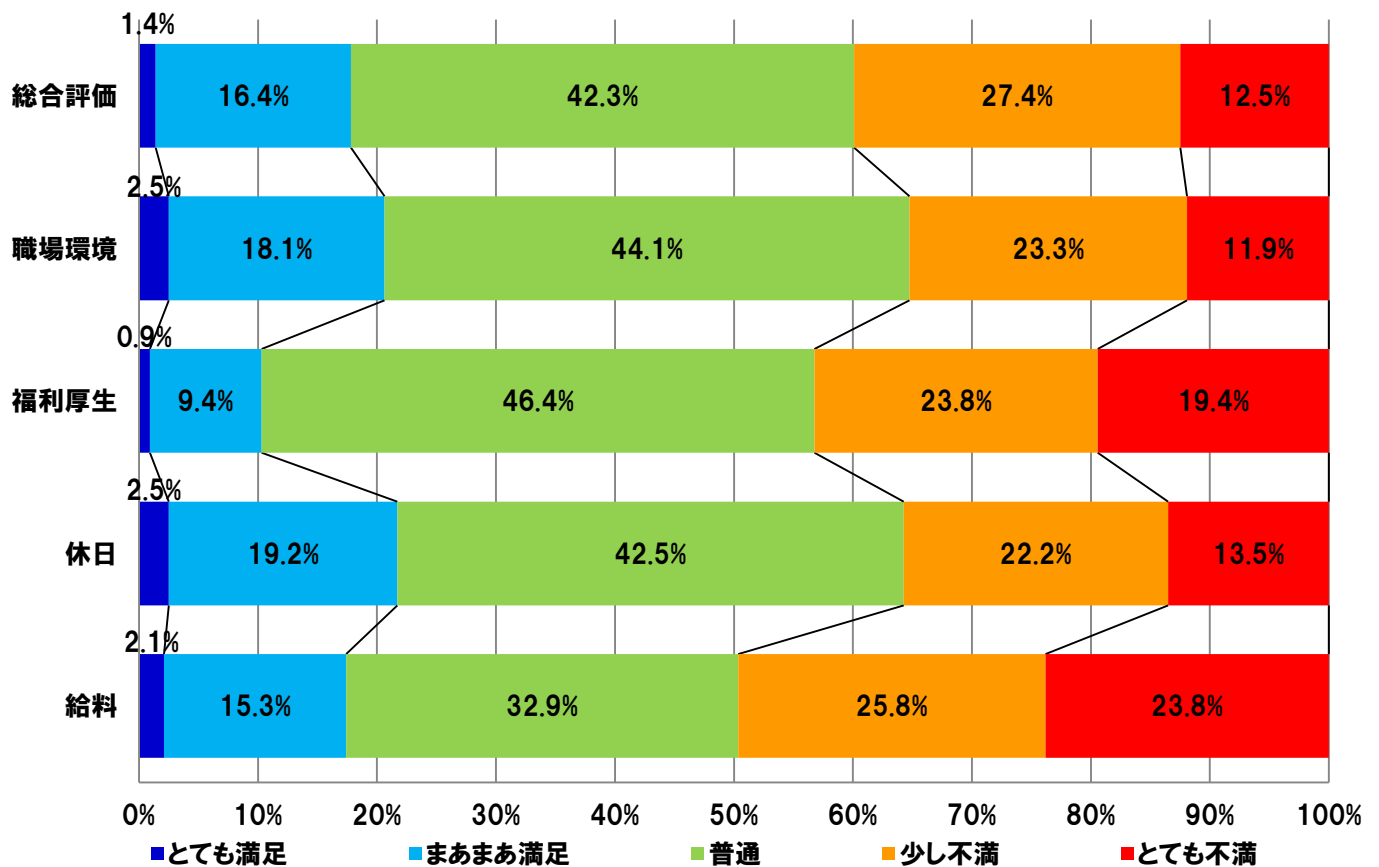
調査の結果、「住宅建設業界の将来に不安を感じますか？」という質問に対して約4分の3となる72%が不安を感じていることが判明しました。逆に、全く感じていない人は、3.4%しかおらず、住宅建設業界の先行きに対する不安が大きいことがわかりました。

また、オリンピックが開催される東京においては、オリンピックが開催されるにも関わらず、全く不安を感じていないと回答した人が、全国平均3.4%に対して0%と一人もない結果になりました。



■ 約半数の人が給料に不満があるものの、職場環境や休日に対する満足度は高いことが判明

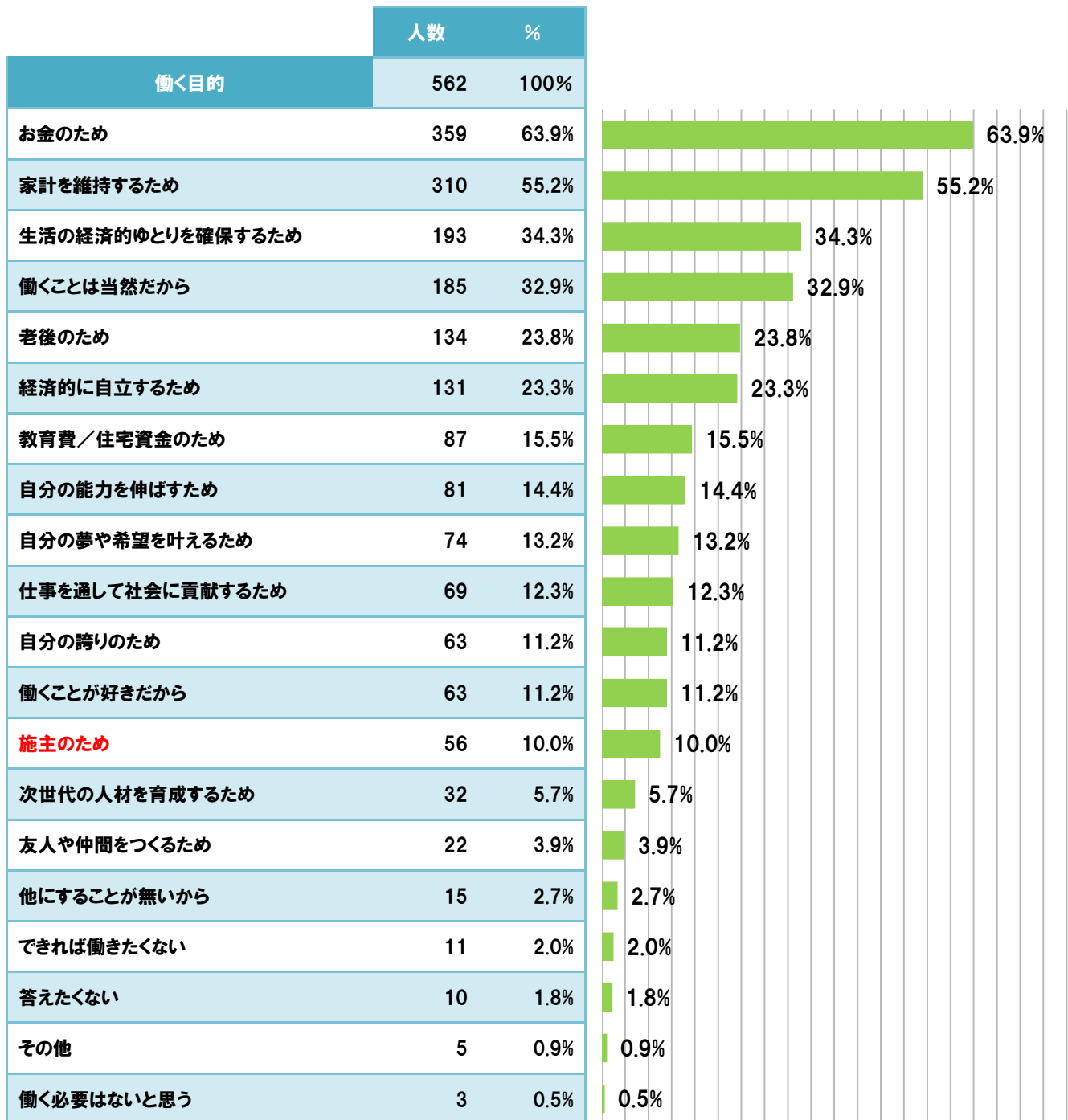
Q. 今の賃金・待遇・職場環境など、どの程度満足していますか？ (n = 562)



総合評価に対して、職場環境や休日に対する不満は低いものの、給料や福利厚生の中で、不満が高い傾向があることがわかりました。とくに、給料に対する不満は、全体の49.6%と約半分と高い結果になりました。

■ 生活や老後のために働く人が圧倒的に多く、施主のために仕事してる人はわずか 10%

Q. なんのために仕事をしていますか？ (n = 562) ※複数回答

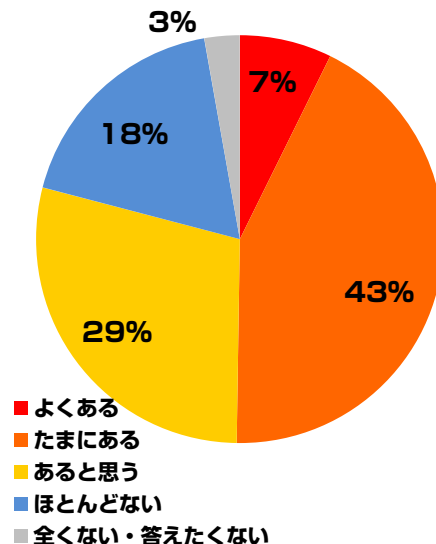


仕事をする理由としては、生活や老後の為といった一般的な回答が多くありました。一方、施主のために仕事をしている人は10%、次世代の人材を育成するためと回答した人は、5.7%という結果になりました。

■ 欠陥住宅にもつながる、建築現場でのミスや失敗の実態調査

Q. 建築現場で、ミスや失敗をしてしまったことはありますか？（n = 562）

よくミスや失敗をすると答えた人は7.3%、たまにあるやあると思う割合を含めると79%に上りました。

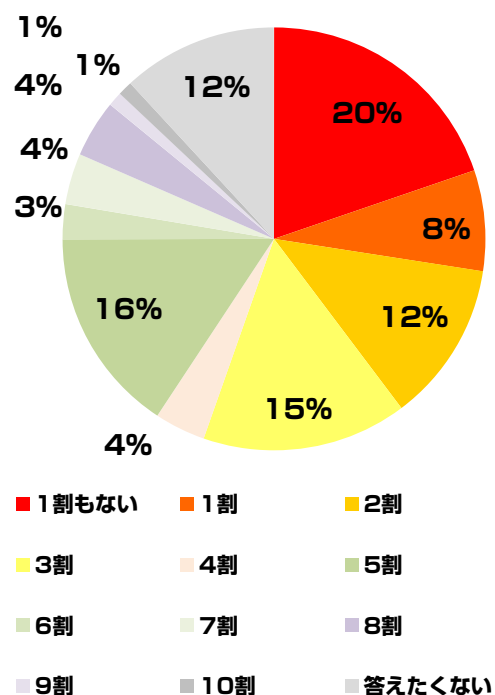


■ 自らが施工に携わった住宅で、約20%の人は自ら住みたいと思えないと回答

Q. これまで建築に携わった住宅で、自分でも住みたいと思える家は何割くらいありますか？

（n = 562）

過去自らが携わった住宅で、約20%の人は自ら住みたいと思えないと回答しました。また、1～2割と回答した人を含めると、約40%の人が自ら住みたいと思える家の施工に携わっていないことがわかりました。



<調査概要>

- 調査対象：全国の住宅建設に携わる職人（14職種）
大工、電工、配管工、鉄筋工、塗装工、型わく口、左官、防水工、板金工、タイル工、サッシ工、屋根ふき工、内装工、建具工
- 調査方法：インターネット
- 調査期間：平成26年11月14日（金）～11月15日（土）
- 性別：男性
- 年齢：20歳以上
- 有効回答者数：562人

一般社団法人全日本工務店協会 概要

- 名称：一般社団法人全日本工務店協会
- 設立：2014年4月
- 所在地：〒811-1314 福岡県福岡市南区的場2丁目36-1
- TEL：092-586-7123
- FAX：092-586-7653
- E-mail：mail@alljapan.or.jp
- 目的：【「おつ!」をつくる】【「地元愛」をつくる】【「オールジャパン」をつくる】という3つの柱からなる理念を掲げ、日々活動しています。日本全国47都道府県の地域密着した地元を代表する工務店が力を合わせ、匠の技術で日本に「住」革新を起こし、世界に誇れる工務店集団を結成することを目的としています。
- 役員：代表理事 阿久津 岳生

— 本調査に関するお問い合わせ先 —

一般社団法人全日本工務店協会 担当：有馬

TEL：092-586-7123 FAX：092-586-7659 メール：mail@alljapan.or.jp